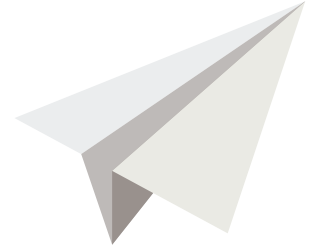


株式会社リニエR 通信

かみひこうき



所長
寺田 弘貴
(理学療法士)

Linie

リニエ訪問看護ステーション霧島
tel. 0995-73-4655

管理者
村西 大輔
(看護師)

2025年3月1日、霧島市隼人町に
『リニエ訪問看護ステーション霧島』を開設いたしました！



Linie



<https://linie-group.jp>

リニエグループの現場から 一冊の書籍が生まれました！

株式会社リニエR／株式会社リニエArts 中島 卓也（理学療法士／※三輪書店にて企画編集もしています）

モノづくり父さん×明るく前向きな家族たちによる
障害・ちがいのある子の「できた」を広げる
発明&活用ストーリーついに書籍化！



『あの子のちがいは価値になる』

～「楽しい」から広がる支援機器活用アプローチ～

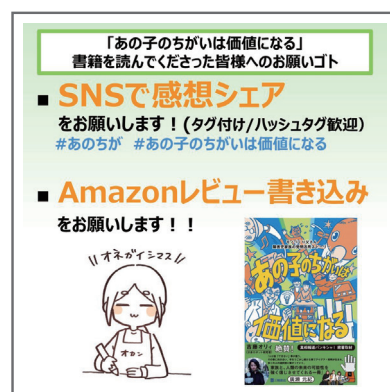
定価：1,980円(本体1,800円＋税)

商品コード：ISBN978-4-89590-834-4

四六判 / 182頁 / 2025年

【著】廣瀬元紀

リニエRから
お願いごと



このたび、私が三輪書店にて企画・編集を担当した書籍をご紹介します。本書は、大阪の株式会社リニエ L の療法士が訪問リハビリを行ったお子様とご家族の物語をまとめた一冊です。

タイトルの通り、「できない」を価値に変えていくという、非常に前向きな家族のストーリーが描かれています。著者との企画編集ミーティングを重ねる中で、父親が自身の得意分野を活かし、息子の「できない」を価値へと転換していく考え方に触れました。

それはまさにリハビリテーションの本質であると強く感じました。

私自身も、臨床現場で障害を抱える方々やご家族と向き合う機会が多くあります。その中で、できないことに目を向けるのではなく、それをどのように価値に変えていくかを模索する思考過程には深く感銘を受けました。

こうした過程を、できるだけ分かりやすく伝えられるように構成を工夫しました。多くの方に本書を手にとっていただければ幸いです。

(中島)

「リニエシューレ二子玉川」開所のお知らせ



この度、2025年1月より「リニエシューレ二子玉川校」が開校いたしました。また、児童発達支援・放課後等デイサービス「リニエブラッツ」も同時に開設し、同じ建物内でご利用様のさまざまなご都合やニーズに合わせてサービスをお選びいただけるようになりました。

おかげさまで、ブラッツの放課後等デイサービス枠とシューレの日曜枠は、ほぼ満枠のお申し込みをいただいております。

4月からは新しいスタッフを迎え、5月には「コグトレ塾」も合流する予定です。これにより、より充実したサービスをご提供できるものと確信しております。

今後も、ご利用様の声やご希望に寄り添い、サービスの拡充と地域との連携を目指して、スタッフ一同精進してまいります。

平日に通える教室が見つからない方、作業療法士による個別指導をご希望の方、または検査を通じてお子様の特性を詳しく把握したいとお考えの方など、ぜひ一度体験にお越しください。皆様からのお問い合わせを、心よりお待ちしております。

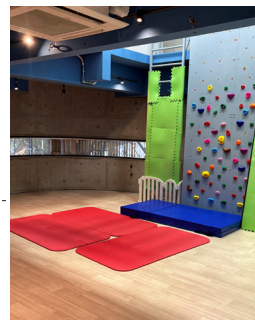
お問い合わせ

リニエシューレ二子玉川

tel. 03-6432-2545

リニエブラッツ二子玉川

tel. 03-6432-2520



〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-22-14
コルティーレタマガワB棟 2F

シューレへのお問合せはこちらから、リニエシューレ公式サイト→

<https://schule.linie-group.jp>



『ウェルビーイング』を実現するために⑤

精神科サービス推進室 扇 浩幸（作業療法士／公認心理師／相談支援専門員）

今回は、ウェルビーイングをさらに深めるために、「セルフ・コンパッション（自分への思いやり）」についてお話したいと思います。

セルフ・コンパッションとは？

セルフ・コンパッションとは、自分の欠点や失敗を受け入れ、自分に優しく接することを意味します。私たちは他者には思いやりや優しさを持って接することができても、自分自身には厳しくなりがちです。特に、仕事や人間関係でミスをしたとき、「なんて自分はダメなんだろう」「もっと頑張らないと」と自分を責めてしまうことはないでしょうか。しかし、過剰な自己批判はストレスを増大させ、自己肯定感を低下させてしまいます。

セルフ・コンパッションの重要性を提唱した心理学者クリスティン・ネフによると、セルフ・コンパッションは「自分への優しさ」「共通の人間性の認識」「マインドフルネス」の3つの要素で構成されています。「自分への優しさ」は、自分が苦しんでいるときに自分自身に優しく接すること。「共通の人間性の認識」は、「誰でも間違いや失敗をするものだ」と受け入れ

ること。「マインドフルネス」は、自分の感情や状況を評価や判断をせずに、ありのままに受け止めることです。

セルフ・コンパッションを持つことで、困難な状況に直面しても自分を責めずに冷静に対応できるようになります。また、自己肯定感が高まり、ストレスへの耐性も強化されます。

セルフ・コンパッションを養うための実践法

1

深呼吸をして自分の心に注意を向ける

目を閉じて、ゆっくりと深呼吸をします。
呼吸に意識を向けることで、心が落ち着いてきます。

2

自分に対して優しい言葉をかける

「大丈夫」「よく頑張っているよ」など、自分に優しく声をかけます。
失敗や落ち込んでいるときほど、自分に対して思いやりを持つことが重要。

3

自分を責める気持ちが湧いてきたら、それを認識して受け止める

「今、自分は責めているな」と気づいたら、評価せずにその感情を受け止めます。そして「誰にでもこういうことはある」と自分に許可を与えます。

ウェルビーイングを実現するためには、他者への思いやりと同じくらい、自分自身への思いやりが大切です。



「リニエ訪問看護ステーション霧島」を開設

所長 寺田 弘貴（理学療法士）

リニエ訪問看護ステーション霧島は2025年3月1日に霧島市隼人町に開設いたしました。

旧リニエ訪問看護ステーションあいらサテライト霧島から事業所化し、あいら・鹿児島・大隅に次ぎ鹿児島県内で4店舗目となります。看護師・リハビリスタッフとともに臨床経験豊富なスタッフが揃っており地域に根差したサービスの提供を目指しております。

対象エリアが霧島市全域となっており、広域を担うこととなりますが、必要とされる場所へ支援の手を差し伸べていけるように体制を整えていきます。

年齢や障害・疾病にかかわらず、住み慣れた地域で安心して自分らしく生活が送れるよう、地域の関連機関と連携をとりながら支援してきます。

職員一同精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



事業所番号: 4661990376

リニエ訪問看護ステーション霧島

〒899-5117

霧島市隼人町見次297-1 エクセレント302号室

【訪問エリア】霧島市

tel. 0995-73-4655

fax. 0995-73-4656

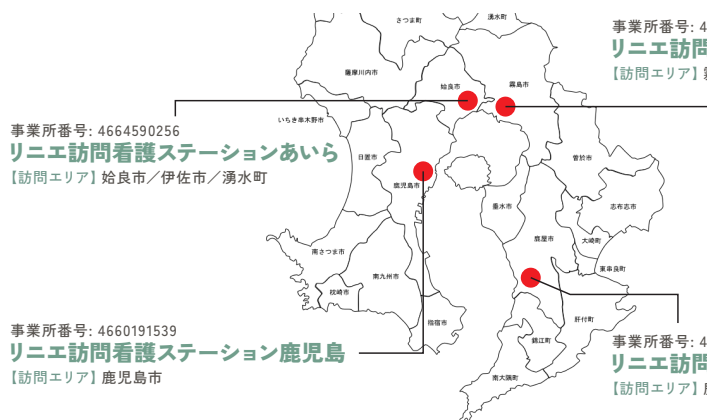


鹿児島県内に4つの訪問看護ステーションを開設することができました。

リニエ訪問看護ステーションあいら リニエ訪問看護ステーション霧島
リニエ訪問看護ステーション鹿児島 リニエ訪問看護ステーション大隅 職員一同

リニエグループは、鹿児島県で初めてとなる訪問看護ステーションを2022年5月に始良市に開設しました。以来、地域のニーズに応えるために努力を重ね、多くの関係機関や地域の皆さまのご支援をいただきながら、現在では県内に4つの訪問看護ステーションを展開しています。これまでに、延べ

300名を超える方々に訪問看護・訪問リハビリのサービスを提供してまいりました。今後も、誰もが住み慣れた地域で自分らしい生活を全うできるよう、全力を尽くしてまいります。引き続き、皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



事業所番号: 4661990376

リニエ訪問看護ステーション霧島

【訪問エリア】霧島市

鹿児島県内のスタッフ数

2025年4月現在



Linie

東京都千代田区神田小川町1-8-8 VORT神田小川町 6F
tel.03-5577-5915 / fax.03-5577-5916
<https://linie-group.jp>

